

新宮木協コミュニケーション誌

No.135 8/1



新宮

木協だより

2015年(平成27年)

(昭和37年12月10日創刊)

発行/新宮木材協同組合 総務委員会
〒647-0025 新宮市あけぼの4番64号
TEL. 0735-22-6105(代)
FAX. 0735-22-6107

URL: <http://www.shingumokkyo.com> e-mail: s-mokkyo@cronos.ocn.ne.jp



南陽市文化会館

全国初となる大型木造耐火の文化ホール(2015年10月オープン)である。南陽市産スギ材の積極的な活用を図るため国内最先端の耐火木造技術と地震に強く安全性の高い耐震構造を採用し、災害時には市役所と連携した防災拠点としての役割を果たす。山形県の方言「おしょうしな(ありがとう)」を皆で発声。

ホームページ随時更新中

新宮木材協同組合

検索



新宮木材協同組合
第六六回通常総会

平成二十七年五月二十六日 (火)、第六六回通常総会をかわるゝに於いて開催 (組合員二九名の内、本人出席二一名、代理人出席四名、委任状出席二一名、合計二七名) し、議案審議では提出議案は全て原案の通り承認可決されました。

総会終了後、懇親会を開き、組合員の親交を深めました。



理事長挨拶



懇親会風景



総会風景

林業・木材製造業労働災害防止協会和歌山県支部新宮分会第三五回通常総会

林業並びに木材製造業に於ける労働者の安全及び衛生並びに労働災害防止を図ることを目的に昭和五六年一月に設立した本分会の第三五回通常総会を平成二十七年七月三日 (金) 出席者二二名 (委任状も含む) が参加して開催しました。当日は新宮労働基準監督署の雑賀署長、肱岡監督・安衛課長にご出席を頂き滞りなく総会を終了致しました。又、総会終了後は肱岡課長より、林材業の労災発生事例、労災発生後の報告・手続等についての説明があり、さらなる防災意識への向上を促しました。

新宮原木買方組合
第八三回定時総会

原木の新宮地区集荷を助長し、紀南地区木材業の発展に寄与することを目的に結成された本組合 (組合員数 二〇名 (出席者十三名) の第八三回定時総会を先の通り開催しました。組合長 速水涉氏が議長を執り行い、総会は滞りなく終了致しました。

記

平成二十七年

五月一九日 (火)

第一号議案 平成二六年度
会計決算報告承認の件

第二号議案 平成二六年度
剰余金処分案承認の件

第三号議案 任期満了に伴
なう役員改選の件

新宮・紀宝道路

当組合所有地を通過することが確実になった新宮・紀宝道路のセンター位置を検討するための全員説明会が三月二四日、国交省、和歌山県、新宮市の担当者が出席する中で開催されました。組合員から活発な質問、意見交換が行なわれ国交省から提示された道路計画図については本説明会直後に開催した理事会に於いて慎重に検討した上で道路計画図のセンター位置を了解することとなりました。その後道路計画図に基づき機能回復道路や下貯木場を繋ぐボックスの設置等について協議中であります。

市長要望

六月二日(火)植松理事長を始め、組合役員八名にて田岡市長を訪問し、次の二点について要望致しました。

- ①現在進められている文化複合施設建築の際には木材の町にふさわしい設計と木材の仕様には『熊野材』の特記をお願いしたい。
- ②熊野材の家づくり普及啓発事業(住宅建築の中間及び完成見学会に対する補助)の継続をお願いしたい。

田岡市長からは①は前例も参考にしながら前向きに検討する。②は九月の市議会に提案するとの回答を頂きました。



あかね材研修会

平成二七年一月二四日

(土)、木材会館大会議室にて、出席者十六名で、「知って少し得するあかね材の話」という題目で、講演会を開催しました。植松理事長の開会挨拶の後、山長林業松本氏より自分の体験談を基にしたあかね材の現状について講演があり、その後、林業試験場城戸氏よりあかね材の強度等性質的な説明、最後に設計士の松本氏より今後のあかね材の販路拡大に向けた取り組み、パンフレットの紹介が行なわれました。熱心な質疑応答の後、好評のうちに講演会は終了しました。



講演会風景

三重エネウッド視察

平成二七年一月一四日、東牟婁郡、西牟婁郡、県庁を含む約六〇名の参加の下、研修会が午後一時より、ウッドピア木質バイオマス利用協同組合に於いて行なわれました。協同組合理事 綾野氏挨拶の後、担当の西川氏の説明によりバイオマス工場の第一、第二工場の視察が行なわれました。ま

ず目を引いたのは合計七万㎡ともいわれる、未利用材が大量に置かれた状態でした。そして、その大量の材を一気にチップにかえる駆動式の巨大チップパーです。その後、車で二〇分ほどの場所にある三重エネウッド(株)のバイオマス発電所を二班に分かれて見学しました。

一四名という最小限の雇用形態の中で稼働日数三二八日、未利用材チップ五万七千トンを使用することを目標に稼働を続けており、チップ置き場が満タン(四、五〇〇t)の状態から二日半で空になるため、一日一〇トントラックを八往復二台体制をベースに状況に応じて一台増やしつつチップを供給しているとの事でした。オペレーターの管理を徹底しており、出来る限り未然に事故やトラブルを

回避し、稼働を維持することを一番に進めていきます。尚、二〇年でこの事業が一区切りとなつているため、若年層の雇用はあまり行わないということです。(二名は工場長の息子さんでした)



バイオマス発電所



チップ工場

研修旅行
(南陽市文化会館等)

六月二十六日(金)〜二十八

日(日) 山形県の南陽市の文化会館、東京スカイツリー、サウスウッド見学を中心にした研修旅行に組合員・木協職員等九名(途中参加者あり)が参加して研修を行いました。六月二十六日(金)、五時三〇分に木材会館出発。名古屋駅にて金嶋氏と合流。山形県南陽市へと向かいました。南陽市では、文化会館にて片山教育部長と合流(視察後新幹線内で別れる)して、質疑応答及び館内を見学しました。柱等ふんだんに木材を利用し、丸太一二、四一三m、製品と

して三、五七〇mが使用されその迫力は特に柱部分(表紙参照)が圧巻の一言でした。その日の内に東京へ向かい渋谷東武ホテルにて一泊しました。

六月二十七日(土)、前理事長の玉置研二氏とホテルにて合流し八時に出発。スカイツリーでは二組に分かれ一部の方々は浅草文化観光センターを見学しました。その後銀座NOCビルを見学し、築地で昼食をとり、午後からは四谷にある東京おもちゃ美術館を視察及び木育レクチャーを受けました。ネット等の写真では、先進的な建物を想像しておりましたが、実際は閉校された学校を借りることで運営を行っており、寄付とボランティアによって支えら

れているとの事でした。「木育」とは『木で育てる。木で育む。』ことで木育キャラバン等で積極的に木(のおもちゃ)をアピールすることにより、市町村、企業間等のパイプとして今後も啓発を行っていききたいとの事でした。東京おもちゃ美術館を後にした我々は、表参道のサニーヒルズカフェにて外観、内装を見学しました。

六月二十八日(日)、ホテルを八時五〇分にチェックアウトし横浜へ向かいサウスウッド見学した後、新宮への帰路につきました。かなりタイトなスケジュールでしたが、事故、ケガなく予定通り研修が終了したことと、めったに体験できなかった様々なものを見学できた大

変りあるものでした。

参加者(表紙写真右から)..
糸川 貴祥・金嶋 正人(金嶋設計事務所代表)・片山道弘(新宮市教育委員会 教育部長)植松 浩・谷口 泰仁・速水 祥久・湊 恵美・板持 浩之(県林務課)

二日目参加者..玉置 研二



南陽市文化会館大ホール



東京スカイツリー



南陽市文化会館小ホール



銀座NOCOビル



浅草文化観光センター



東京おもちゃ美術館内見学



東京おもちゃ美術館外観



サニーヒルズカフェ



サウスウッド屋内



サウスウッド外観

二〇一五年度新役員

今年度の新緑会の新役員及び会員は次の通りです。

会長	竹中 俊介
副会長	速水 洋平
書記	野地 陽介
監査	玉置 和夫
木工展委員長	速水 祥久
木工展副委員長	湊 一郎
木工展会計	濱口 輝久
親子木工教室	三島 彬
出張木工教室	野中 亮伸
企画委員長	江崎 大晃
企画委員	板谷 貴史
相談役	瀬古伸一郎
〃	速水 洋平
〃	安藤 俊朗
〃	青木 優朋
〃	倉谷 良太
〃	久保太嘉志
〃	川崎 康弘
新会員	野中 亮伸
〃	倉谷 良太

会員名簿

氏名 勤務先

川崎 康弘	(資)川崎商店
速水 祥久	速民製材
江崎 大晃	江崎製材
玉置 和夫	熊野川町森林組合
板谷 貴史	板美商店
瀬古伸一郎	(株)山一本店
湊 一郎	角新木材(株)
久保太嘉志	(有)池田製材所
竹中 俊介	竹中幸生商店
濱口 輝久	晃栄林業(株)
速水 洋平	誓栄産産協賛
青木 優朋	青木木材(資)
野地 陽介	野地木材工業(株)
三島 彬	(株)三島
安藤 俊朗	新宮市森林組合
野中 亮伸	野中工務店
倉谷 良太	倉谷建築

正会員 十七名

(賛助会員は十三名です)

日本木材青壮年団体連合会

第六〇回全国会員 四国愛媛大会

平成二六年五月二二日(金)〜二四日(日)松山市のひめぎんホールで行われた日本木材青壮年団体連合会 第六〇回全国会員 四国愛媛大会に参加致しました。

二三日車で午前六時に出発し、午後三時に松山市到着しましたが、海をまたいでいるとはいえず、近所の県だと軽い気持ちで出発しましたが、総走行距離一、三〇〇kmは車で行くには大変な距離だと身に染みしました。シンポジウムに参加した我々は、午後六時からの大懇親会にも参加し、他団体との親交を深めました。

二四日は京都、滋賀、

奈良の会団のメンバーと松山城を見学しました。

筒井門は梅(とが)で出来ており大変興味深かったです。又他会団の方々と一層交流を深め、同じ近畿地区の会団として刺激を受けました。少々疲れはしましたが、充実した二日間でした。このよう貴重な体験ができたことに感謝しております。※来年は福井県で開催されます。

(竹中 俊介)

参加者(写真右下)
瀬古伸一郎・竹中 俊介・野地 陽介・瀧岡 俊太・三島 彬



松山城にて



ホール前集合写真

新入会員紹介



あきのぶ
野中 亮伸 さん

生年月日：1977年(昭和52年)4月11日
住 所：新宮市新宮
年 齢：38歳
血液型：B型
趣 味：ゴルフ
ひとこと：野中工務店の野中と言います。木材関係の多種多方面の方と勉強していければと思います。微力ながら新緑会で頑張りたいと思います。よろしくお願ひいたします。



倉谷 良太 さん

生年月日：1984年(昭和59年)9月5日
住 所：新宮市新宮
年 齢：30歳
血液型：A型
趣 味：サッカー
ひとこと：倉谷建築の倉谷と言います。私たち大工に木材製品として届くまでの林業や製材業について知識や技術等について勉強できればと思います。よろしくお願ひいたします。

新婚さん紹介



昭和五二年六月九日生

安藤 俊朗 さん

(新宮市森林組合)

平成元年六月十五日生

翔子 さん

(平成二七年六月十五日 入籍)

「私達はこの度、入籍致しました。いろいろと至らないふたりではありませんが、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ致します。」

親	木
子	工
	教
	室

夏休み恒例の親子木工教室を今年も七月二六日(日)に行い約一四〇名の親子に参加頂きました。又、今年初めての試みとして木育のために林業から製材そして住宅として使用されるまでの経過を分かりやすく現物を用意して説明するコーナーを設けました。今回は「飾り棚」と「ティッシュケース」の二点を用意させて頂きました。猛暑の中来場された方々が作品を完成させて喜ぶ姿を見てとても満足でした。無事終了することができ、会員の皆様、お疲れ様でした。

(板谷 貴史)



ティッシュケース(左)と飾り棚(右)



製作風景



説明風景

「本の紹介」

日本の一番長い日

半藤 一利

この本は、戦争体験者の取材をもとに、終戦の日を追ったノンフィクション作品です。一九六五年に刊行されました。遡ってみますと当時勤務していた会社(文藝春秋)で「太平洋戦争を勉強する会」を立ち上げたのがきっかけです。当時はまだ戦争当事者が生きていました。ところが取材しているうち、会う人によって話が食い違ってくる。どの話が本当なのか徹底的に調べました。したがって当書の特徴は粘り強く実地の踏査を重んじたことにある、といえると思います。(作者)



高揚の意を受けたマスメディア(読売、朝日、毎日新聞)各紙は翌二八日の朝刊で一斉に書き煽った。「笑止! 米英蔣共同宣言、自惚れを撃破せん、聖戦を飽く迄完遂」とそのうちの二紙は壮語した。その結果、ポツダム宣言の対応策として、静観→黙殺→拒絶(リジェクト)と言葉が錯綜、変遷し、対外放送網を通じて最後のリジェクトが独り歩きしてしまった。まさに三国の態度を硬化させてしまったのである。このことはのちの原爆投下や、ソ連の対日参戦を正当化するための口実に使われたことはよく知られている。:

- ・八月六日八時十五分らしい閃光とともに大爆発が起こった。一発の爆弾が40万人の人間に死をもたらし、広島市は瞬時にして地球上から消えた
- ・八月八日、日ソ不可侵条約を反故にしてソ連が日本に宣戦布告。
- ・八月九日、長崎に第二の原爆が投下される。

この期に及んでも、国民の知らないところで日本の閣僚たちは本土決戦か終戦かで抗争していた。……この本の主役は大元帥の天皇を除けば阿南惟幾(あなみこれちか)陸軍大臣です。最後まで本土決戦を主張する彼は「これまで日本は国家の命運と民族の名譽をかけ、自存自衛のために戦い続けてきた。それなのに相手の言いなりに国

体の存続も不確実なままに無条件降伏するのは、あまりにも無責任かつみじめではないか」：静かに力づよく閣僚たちに言いつづけた。

「タイトルの「一番長い日」とは一九四五年八月一日の正午から一五日の正午までの緊張、切迫した一時間ごとの関係者の行動軌跡を追った二四時間のドキュメンタリードラマのことで

す。」

- ・いうまでもなく、ポツダム宣言受諾とは「休戦」ではなく「降伏」なのである。戦争を単にやめるというのではなく、連合軍の意思如何によっては国家体制の崩壊、天皇の座そのものの危殆(きたい)、領土分割(現実にソ連はいちばん日本の領土分割にこだわった)、等々が現実問題として予想されていた。それらの事を誰よりも分かっていたからこそ阿南陸相は米内光政(よないみつまさ)海相ほかほとんどの閣僚を敵に回してでも自説を強力に押し進め本土決戦にこだわったのである。
- ・戦争というものの、軍というもののはつきりした『力学』を知らない文官政治家が、陸相の片言隻句に直ちに狂気、暴力、クーデターの匂いを感じるの仕方のないことであろう。陸相の強硬論は決して見せかけのものではなかった。彼は最後の最後まで軍の士気を発揚しておかなくてはならないと固く信じて

いた。そうすることに正々堂々、承諾必護の方針を貫くことができるのである。過去の幾多の戦史は、最も精強であり精鋭であった部隊こそ、最も困難な転進作戦において一糸乱れぬ厳然たる軍容を示したことを教えている。それが軍の矛盾した『力学』というものであった。(単行本 p126)

- ・8月14日正午ポツダム宣言受諾という当時44歳の天皇の聖断によって『日本帝国の破壊』(日中開戦よりこの日まで陸海軍の死者約2百万人、一般国民の死者約100万人何百万戸の家屋の崩壊)をもって古い歴史はおわろうとしていた。
- ・陸軍・青年将校たちの夏

『最後のご聖断が下ったのだ。悪あがきはするな。軍人たるものは聖断に従うほかない。』青年将校たちの激しい突き上げに對しこう陸相は戒めたが、彼が最も恐れていたのは部下の暴挙である。「威令行われざる最後の皇軍」陸相は誰よりもそうした悲しい現実の認識が深かった。大多数の忠実な将校たちにとって陸軍の崩壊は彼らの思想、信念の根底まで揺さぶり、彼らは初めて内面の戦いに直面した。忠誠とはなんであったか、これらの部下たちを絶望的な混乱から救い、身をもって正しい決断に導くために陸相は必死の努力を傾けている。何よりも彼らに「栄光ある敗北」を与えてやらねば

ならない。肉体的道徳的勇氣を持って、沈みゆく小舟を最後の瞬間までバラバラにならないよう最大の努力をする。それだけである。……しかし

現実の歴史の流れには、聖断があり、すべてが決まった。青年将校たちはすべてが決定したところから幻影を求め始めたのである。判断力と平衡感覚を失い始めた。彼らは事態を絶体絶命のものとして信じていなかったし、仮に最悪の事態であったとしても、やはり起たねばならない。彼らには時の流れに対する悲壮な反発があった。その悲壮感によった。国体護持を貫こうとする自分たちの決意こそむしろ歴史の記録に残るであろうと……

情勢は「狂瀾を既倒に回らす」(pg8)、術(すべ)もなくなっていたにもかかわらず、目的(本土決戦)のためにはあらゆる可能性を求めて畑中健二少佐、椎崎次郎中佐を中心とした青年将校たちは暴徒の限りを尽くす「かかるときには陛下の争奪が起こりやすいから心しておけ」といった忠誠心の塊のような近衛師团长森起(もりたけし)を殺害」等々

そして……玉音放送の録音盤を探すため皇居に乱入し徳川侍従を殴りつけたりもする。最後には放送局を占拠して自らの意見を放送するよう強要する。いずれも間一髪で危うく免れる。まだまだ各所(厚木基地等)で火

m²単価 () は平成26年度

**事務局月一回土曜
休業日のご案内(予定)**
(八月〜十二月)
八月二二日(土)
九月二六日(土)
十月二四日(土)
十一月二八日(土)
十二月十二日(土)

◆◆◆新宮原木市場平均単価◆◆◆

樹種	形状	平成27年			備考	
		5月	6月	7月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m 小丸太材	5,400 (5,300)	5,700 (5,400)	6,000 (5,400)	4	6~13
	3m 14~20	7,200 (8,900)	7,100 (11,100)	7,700 (8,600)	3	14~20
	3m 22cm 上材	9,500 (10,100)	8,700 (11,000)	10,400 (9,700)	3	22~
	4m 14~22	8,600 (9,400)	8,300 (9,900)	9,200 (8,900)	4	14~22
	4m 24cm 上材	11,400 (12,900)	12,700 (13,000)	14,000 (13,400)	4	24~
檜	4m 小丸太材	5,200 (5,700)	5,400 (5,700)	5,400 (6,100)	4	6~13
	3m 14~20	8,700 (10,800)	8,800 (9,400)	9,100 (12,700)	3	14~20
	3m 22cm 上材	12,100 (13,600)	10,100 (10,300)	12,200 (13,400)	3	22~
	4m 14~22	10,700 (13,100)	10,700 (10,900)	10,200 (12,200)	4	14~22
	4m 24cm 上材	20,600 (18,700)	20,700 (15,300)	15,200 (18,800)	4	24~
杉総平均単価		9,600 (10,500)	9,900 (11,100)	11,800 (10,800)		
檜総平均単価		13,000 (13,100)	12,000 (11,500)	10,700 (13,800)		
総平均単価		10,500 (11,300)	10,500 (11,200)	11,600 (11,900)		

事務局お盆休みの
おしらせ

八月十三日(木)
〜八月十七日(月)

新入社員紹介



(株)新宮原木市場
はやし こうじ
林 浩司 さん

生年月日/1973年(昭和48年)6月28日生
住所/那智勝浦町、年齢/42才、星座/かに座、
血液型/A B型、趣味/烏賊釣り、ドライブ
ひとつこと/ まずは、原木の目利きから。



(株)新宮原木市場
ながの いさむ
長野 伊佐武 さん

生年月日/1984年(昭和59年)11月13日生
住所/那智勝浦町、年齢/30才、星座/さそり座、
血液型/B型、趣味/ルアーフィッシング
ひとつこと/ 木に接するのは、初めてですが何とか
一つ一つ覚えて行きたいと思います。
よろしくおねがいします。

種はくすぶっていたが日本の一番長い日もようやくエンディングを迎えようとしていた。「一死・大罪を謝す」・阿南陸相自刃(意識がなくなったとき義弟の竹下雅彦中佐・介錯(宮城前二重橋と坂下門との中間芝生で畑中少佐、椎崎中佐、二人の将校は命を絶った。「陸相の死が武人の義務を人々の心にもみえがえらせた。陸軍省は心に喪章をつけて喪に服した。」・日本の二大軍隊陸軍(阿南惟幾)は海軍(米内光政)とは必ずしも和せず・・・
・八月一五日「君が代」が終わり、天皇の玉音放送。
・最後に大宅壮一さんの序の言葉を紹介しておきます。
今日の日本および日本人にとって、一番大切なものは、『平衡感覚』復元力を身につけることだと思ふ。内外情勢の変化によって、右に左に、大きく揺れるということはやむを得ない。ただ、適当な時期に平衡を取り戻すことができるか、できないかによって、民族の、あるいは個人の運命が決まるのではあるまいか。
・映画では二本あります
・岡本喜八監督、三船敏郎(先ごろハリウッドで榮譽に浴す)主演
・原田真人監督、役所広司(『蜩の記』で戸田秋谷役を演じる)主演

【八月八日封切り】
(総務委員 瀬古穰)

末社詣り

組合恒例の末社詣り行事を旧暦の元旦にあたる 2 月 19 日 (木) に行ないました。晴天の下、参加した人は神社にて頭をたれ業界の隆昌と安泰を祈願いたしました。各神社を参拝後はかわみにて伝統の「どじょう汁」に舌つづみをうち、正月らしい賑わいで旧元日をお祝い致しました。(参加者 16 名)

(速玉大社－牛ノ鼻神社－中村神社－烏止野神社－阿須賀神社－神倉神社 (遥拝)－王子神社 (遥拝))
神倉神社と王子神社は速玉大社の摂社 (本社と末社の間に位置する神社) である阿須賀神社より遥拝

行事予定

- ◆ 八月四日 (火)
盛夏特別記念市
- ◆ 九月二六日 (土) ～
二七日 (日)
**第三七回
児童生徒木工工作
コンクール**
- ◆ 十月十五日 (木)
**第五六回木霊塔
建立供養式**
- ◆ 十月十六日 (金)
新宮まつり記念市

編集後記

◆ 本号の表紙は山形県南陽市の文化会館を紹介しました。既に全国各地から見学者が訪れているとの事であり関心の高さが伺えます。表紙にもあるように木造耐火構造の大ホールを備えており、これからの公共建築物の木材利用に大きく寄与するところが期待されています。

◆ 遠方への研修旅行を久しぶりに実施しました。業界大変厳しい状況ではありますが、外の空気に触れ他地方の取組みを勉強することはよい刺激になると思えます。今後も組合員の皆さんのお役に立てるよう計画立案をして行きたいと思えます。

◆ 新宮・紀宝道路の事業着手式も行なわれ、事業は徐々に進んでおりますが、三重県側では

路線変更を求める運動も出ており今後更に関係者による粘り強い丁寧な交渉が必要となってくるでしょう。

◆ 以前、本誌で紹介した「カウントダウン・メルトダウン」の著者船橋洋一さんが半藤さんと対談したとき、船橋さんは徹底取材をもとにそれを描き出し後世に伝えるノンフィクションの試みは「日本の一番長い日」を以て嚆矢とする。私の作品はいわば『半藤事故調です』と言っていました。なぜ新宮が第二次世界大戦で大空襲を受けたのか。(新宮市の死者八十一人、負傷者二百三十九人) 当時は大阪や名古屋など大都市空襲の通り道であったため B 二九がその行きかえりのついでに爆弾を落としましたから、という。(七月二十二日付紀南新聞) ちなみに一九四五年三月一〇日の東京

大空襲では一晩だけで 10 万人近くの人がかなくなり、当時十五歳の半藤さんは大人から言われ、死体の後かたづけをしたという。

◆ 戦争というのは起こすのは簡単だがやめるのは難しい。「戦争で勝ったほうはいろいろ取れるから。たとえば日清戦争、第一次世界大戦の賠償金で日本は不景気から立ち直ったという経緯がある。

◆ ひとたび戦争の中に身を置けば人間はどこまでも残酷になれる。人間が非人間的になれるということが戦争の恐ろしさ。人間は歴史から学ばない。しかし歴史は学ばなければ教えてくれない。無駄かなと思いつつも生きていく限り (現在八十五歳) 語り継ごうと思っている。(半藤 一利)